

お客様へのメッセージ冊子

この冊子は、お客様に向けた、セゾン投信のメンバーの思いや、
応援いただいている方々のメッセージを集めたものです。

ぜひ、ご一読ください。

下記は必ずお読みください。

この資料は、セゾン投信の役職員ならびに関係者の方々から皆様へ、「メッセージ」の発信を目的として作成したものであり、勧誘を目的とした、セゾン投信の提供する「販売用資料」ではありません。また、金融商品取引法に基づく、開示書類でもありません。したがって投資信託の購入、売却、あるいは保有を推奨するものではありません。

情報については、その正確性、信頼性、安全性等について保証するものではありません。過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを推測する指標ではありません。

この情報に関する一切の権利、義務は、その情報提供者（以下「情報提供者」）に帰属します。この情報の内容は、情報提供者の事由により変更されることがあります。

この情報は、閲覧者ご自身のみのものであり、転載、または、第三者への提供は禁止します。

このメッセージに掲載された情報に基づく判断については、閲覧者ご自身の責任の下に行うこととし、万一このメッセージの情報により、閲覧者が損失を被ったとしても、セゾン投信株式会社、ならびにその情報提供者はいかなる損害に対しても一切の責任を負うものではありません。

投資信託の取得を希望される方は、必ず投資信託説明書（交付目論見書）を十分お読みいただき、内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

2007年11月6日

2007年11月6日

金商法施行がもたらすもの

9月30日から証券取引法が大幅に改正され、新たに金融商品取引法という法律が施行されました。これは行政当局の姿勢が大きく変化したことを示す重要な節目となるものです。かつて政府は参入障壁を高く構え、既存金融機関を護送船団方式というかたちで手厚く保護してきました。その後のバブル崩壊でこうした保護コストが莫大にかかることを体験し、自由化に舵を切ってきましたが、今回の法制度改正では、政府が業界保護から投資家保護へとはっきりと立ち位置を変えたことを宣言するものだと前向きに受け止めています。施行から1ヶ月が経ちましたが、今のところ金融機関のビヘイビアはおしなべて慎重になっているようで、多くの銀行・証券などが投信など金融商品の販売計画を下方修正しています。また販社によっては、70歳以上の人には単独では販売しないなど法令を極解した新たな差別も起きており、投資家がいたずらに不便で買いにくくなったなどといった本末転倒も見受けられます。「貯蓄から投資へ」の流れを健全に発展させることを目的に改められた法律が、業界の過剰対応でその主旨を損なわれたのでは元も子もありませんが、時間と共に金融業界全体が受益者の方を向いた姿勢に変わって行くなれば喜ばしいことと考えています。今回の法改正は売る側の姿勢を受益者に向かせると同時に、買う側にも自分で責任を持って判断し行動することを求めているわけで、供給サイド・需要サイド共々が意識改革をしっかりとやることで、日本の生活者にも「投資」が根付いて行くのです。

責任を持って堂々と生きよう

このところ頻発している食品の消費期限改ざんは、業者の利益至上主義、倫理欠如、無責任などに問題が起因していることはまちがいありません。しかしこれらの事象を全部が全部業者側の問題だけに帰することが正しいのでしょうか。不思議にもすべての表示改ざん問題では、おなかを壊したとか食中毒にかかったとかで表沙汰になったわけではなく、ある会社の問題でも30年も前から消費期限の偽装をやっていて、実際のところこれまで食べる方は全く気づかなかったわけです。プロの職人たちからすれば、まだまだ食べられるものに行政のルールで画一的に消費期限が定められている、もったいない、じゃあもう一回出荷しよう、という具合に偽装が恒常化したとするなら、もしかしたら消費期限という法的ルールと実体的な消費可能期限が乖離しているのかもしれない。正しくルールを守っていると、まだまだ食べられるものをどんどん捨てなければならない、何か悲しいモラルです。日本は長い間の官僚主導体制の中で、いつのまにか国民の安全を守るために定められた法律やルールにがんじがらめになっており、国民ひとりひとりが自分で判断して責任を持つことを忘れてしまっていないでしょうか。

消費期限改ざんは悪いことに決まっています。しかしこうした画一的ルールをなくして、各業者がそれぞれの判断で消費期限を設定し、消費する側はそれに対する「信頼」をしっかり吟味するという緊張感こそ、自立した社会に求められる要素ではないでしょうか。生活者・消費者が何でも他人まかせにしているような社会が成熟国家の姿であっていいはずがありません。国民がしっかりと自分で判断し行動して、責任を持って堂々と生きて行く、そんな社会をもう一度ひとりひとりの自覚から作り直さなければなりません。件の金融商品取引法も、金融商品を販売する側が襟を正すことはもちろんですが、投資家自身も自己責任・自己判断の自覚を持ってこそ、正しいルールとして機能するのです。

サブプライムショックの教訓

サブプライムショックの後遺症が未だ癒えず、世界の金融市場参加者は次の飛び火に怯えています。ただ事の成り行きをよく見つめると、今回のサブプライム問題で大やけどを負ったのはみな銀行・証券・ヘッジファンドといった金融業界サイドばかりだということがわかります。RMBS だの CDO だのとやたら複雑でややこしい金融商品に加工して、リスクを分散した・極小化したと喜んでいる間に自ら墓穴を掘ったのです。デリバティブという金融技術の進歩は、ディスインフレ時代の過剰流動性を市場が吸収していく上で大いに貢献しましたが、昨今の金融商品の中には何のためにデリバティブを組み入れてやたら複雑化しているのか理由がわからないというものが目につきます。リターンを上げるためにオプションを売ってみたり、多くのヘッジコストをかけて無目的な元本確保を試みたりと、見栄えをよくして売り易くするために、或いは複雑にして実態のリスクを覆い隠すために、合法ではあっても決して投資家本位とは言い難い商品組成の具に、金融ハイテクが駆使されているような気がします。そして中身が複雑になればなるほど、一般の投資家にはどれだけ目を凝らしても見つけることができない色々な手間賃や加工賃が抜かれているのが実状です。商品の作り手・運用者そして販売者が投資家の財産形成のために第一義に考えて仕事をするという至極あたりまえのことがあたりまえにならなければ、投資運用の世界はいつまでも「何か怪しげな業界」から抜け出すことはできません。金融商品取引法がそうした基本原則の是正につながることを願っています。

長期保有型投信の強み

最近巷では、小島よしおの「そんなの関係ねえ」が大流行です。これは人それぞれの生き方でネガティブにもポジティブにも表現できる言葉です。私たち長期投資家にとってはサブプライムショックなどまさに「そんなの関係ねえ」。大いにポジティブな使い方ができます。それは10年先、20年先を見据えて時間をたっぷり使って運用して行けるからです。サブプライムショックに溺れたのは軒並み金融業界の面々で、实体经济にしっかりと根を張っている企業は何も変わらずグローバル経済の中で活動を続けています。株式市場はまだビクビク・しょぼしょぼしていますが、こんなとき長期投資家は慌てず騒がずゆったりと

値下がり品を安く手に入れて喜ぶ気持ちでコンスタントに資金を投入できます。本格的長期保有型ファンドの特長は、投資家と一体になって同じ想いで運用できることです。毎日長期投資家仲間がコンスタントに資金を入れて下さるおかげで、私たちはいつでも仕込みが出来るのです。しっかりとした時間分散をして長期で経済の波に載せて行けるのですから、将来の運用成果の安定につながります。決して一人では出来ない、こうしたリズムカ的な資金投入による運用の積み上げはまさに長期保有型投信ならではの、そしてそれを支えるのはたくさんの長期投資家仲間ひとりひとりの協働作業があってこそその強みなのです。セゾンファンドのような本格的長期保有型投信においては、主役は受益者たる長期投資家仲間の皆様なのだということが、意気消沈相場では尚更実感できてしまいます。

セゾン投信株式会社
代表取締役社長 中野晴啓

資産形成には信頼できる投信の存在が不可欠

ファイナンシャル・ジャーナリスト 竹川 美奈子

“自分年金”をつくりたいという意識の高まり

だいぶ前に、社会保険庁のホームページにある「年金額の簡易計算」を試してみたことがあるのですが、あまりの少なさにビックリした記憶があります。私は会社勤めが10年に満たないので、同年代と比べても少ないほうだとは思いますが、それにしても老後を考えると心許ない金額だったのを覚えています。だからこそ、自分で働く（労働）ことに加えて、お金にも頑張ってもらわなければならないと考えています。最近は私のような個人事業主だけでなく、一般のサラリーマンでも、国や会社だけに頼らずに、“自分年金”をつくらうという機運が高まってきていると感じます。今年4月に『投資信託にだまされるな！』という本を出版した際、当初、メイン読者は60代以降の方になるのではないかと考えていましたが、蓋を開けてみると、30歳以下の方が約4割を占めていたからです。これはうれしい誤算でした。

投資は継続が第一。だからこそ、信頼できる投信が増えてほしい。

「資産運用で財産をつくる」というと、株式投資を思い浮かべる人が多いかもしれませんが、ただ、一生懸命に勉強して、銘柄を選んで、売り買いのタイミングをはかって利益を獲得する。こうしたプロセスを考えると「私には運用は無理だ」「預貯金だけでいいや」と思ってしまう人も少なくありません。

長期で財産をつくる時にいちばん大切なのは、「低コスト」「資産の分散」「長期投資」というごくごくシンプルな戦略です。低コストの投資信託を利用して、「世界全体の成長にのっていく」という発想でゆったりとした投資を行うことができれば、慌てずゆったりとした投資ができるようになるのではないのでしょうか。働いている方は仕事に力を注がなくてはなりませんし、家庭や趣味などに充てる時間だって確保したいもの。そのためには、時間や手間、そして、ストレスのかからない方法で「継続していけること」が大前提になるからです。

個人投資家も良質な投信を育てる努力をしよう

本来、投信は長期で資産を形成していくのに非常に適した商品です。ところが、従来の投信は手数料が高かったり、分配金をたくさん出したりと、「長期で複利効果を高める」という発想の逆をいく商品がたくさんありました。また、「投信は長期保有で」と説明されますが、人気がなく毎年償還されてしまう投信も後を絶ちません。

ですから、財産づくりを担う投信は、運用会社に加えて、販売する会社や投資家が三位一体で育てていくという意識が必要でしょう。セゾン投信が運用する投信は、世界にまるごと投資できますし、低コストで分配金を再投資していくので複利効果が高いという点で、“自分年金”をつくりたいという人たちのニーズにマッチしているのではないのでしょうか。現在、さわかみ投信などと歩調を合わせて、長期投資を啓蒙するようなセミナーを頻繁に実施していますが、こうした活動を通して、投資家に「長期投資」への理解を促すとともに、財産づくりの核になる投信に成長していったほしいと願っています。

そして、将来的にはさらなる飛躍を期待します。例えば、純資産総額が一定額を超えたら信託報酬を引き下げる、ウェブ上で積立金額の変更を可能にする、ありがとう投信が行っているような「定期解約サービス」などを取り入れるといった具合です。のようなサービスがあれば、資産を大きく育てつつ、リタイア後に楽しく使うこともできると思います。

いずれにしても、セゾン投信はまだスタートしたばかり。本格的な成果がみえてくるのはこれからでしょうが、いつまでも、真摯に個人投資家の意見に耳を傾ける運用会社であってほしいです。

執筆者プロフィール

竹川 美奈子氏

ファイナンシャル・ジャーナリスト。出版社勤務などを経て独立。1999年ファイナンシャル・プランナー資格を取得。現在は新聞やマネー関連の雑誌や書籍、新聞などで幅広く取材・執筆活動を展開する一方、ライフプランセミナーや確定拠出年金セミナーの講師などを務めている。著書に『投資信託にだまされるな！ 本当に正しい投信の使い方』（ダイヤモンド社）など。

セゾン投信の素顔

既に口座の開設をいただいた方含め、我々の取組みに興味や関心を持って見守っていただいている方へのメッセージ発信の場として「セゾン投信の素顔」を掲載しております。ここでは、セゾン投信で働くメンバーが日々感じたり考えたりしていることを紹介しています。セゾン投信で熱い思いを抱いて働いている私たちの人となりや少しでも感じていただければ幸いです。

「空の旅」

皆様、「空の旅」はお好きですか？空の旅といっても飛行機で海外旅行に行く事ではありません。スカイダイビングで楽しむ空の旅です。機体に守られていない生身の体で、地上より 4000 メートル以上離れた上空から飛び込む勇気は、おありでしょうか？

私が初めてスカイダイビングを経験したのは、23 歳の時でした。もともと遊園地の絶叫マシーンは子供の頃から苦手なのですが、スカイダイビングは別モノと思う私は変わっていると思います・・・。

空へ飛び立つセスナ機の扉は開いたままで、つかまっていなくて豪風で機体から体が落ちてしまいそうになります。ライセンスは持っていないので、インストラクターつきなのが物足りませんが、肩を 2 回叩かれたらダイブの合図です！！

地上に向かって、もの凄いスピードで突き抜けるように落ちます。息を吸うのもままならない位に。余談ですが、この時点で女性よりも男性の方が圧倒的に失神する事が多いそうですよ。

パラシュートが開くと一度強く上に吊られる様に上がり、後はゆっくり海や景色を眺めながら、下だけ見ていると自分で飛んでいる様な気持ちにさせてくれます。日常を忘れてしまいそうな位に、感動的な景色に見えるのです。(でも本当は私、セスナから地上に飛び込む瞬間が一番好きです)

いつかはライセンスを取り、一人で空中散歩をする事が夢の一つでもあります。もう一つは、近い将来パラグライダーに挑戦する事です。そういう訳で、私はデンジャラスな「空の旅」が好きなのです。

渡辺 陽子

「みんなを笑顔にする簡単な方法?? FREE HUGS (フリーハグズ)」

先日「FREE HUGS (フリーハグズ)」の活動をしている方々を街で見かけました。彼(彼女)らは、まるでヒッチハイクでもするように、「FREE HUGS」という文字を書いたプレートを掲げ、人が行き交う街中に立っていました。

「FREE HUGS」とは、街角で見ず知らずの人々と、ただハグ(hug:抱きしめる)し合うことでお互いの苦しみや悲しみを少しでも和らげ、楽しさや幸せを分かち合い、そのすばらしさを少しでも多くの人々に伝えて行こうという活動で、ネットの動画投稿サイト YouTube にその様子が掲載されたのをきっかけに、欧州の若者を中心に流行の兆しをみせています。YouTube に出ていた男性に「なぜそのようなことをするのか？」と聞くと、彼は「人をにっこりさせるのは難しいけど、ハグされているのを見たら、5 人はにっこりして通っていきんだよ」と言ったそうです。

フリーハグズの活動はテレビを通じて見たことはあったものの、実際に街で見たのは初めてなので、しばらく視線が釘付け状態でしたが、その日は残念ながら実際にハグしている姿を見ることはできませんでした。欧米などと違い日本にはもともとハグの習慣がなく、知人同士でもハグをする機会はほとんど

ないため、こうした活動が広がりにくいのかもかもしれません。かくいう私も好奇心と仕事の疲れからハグしてみたい衝動にかられたものの、恥ずかしさと、見知らぬ人とハグする勇気が持てず、その日はそのまま素通りしてしまいました。でも本当にハグによって心が和んだり、癒されたりするのなら、また自分だけでなく周りの人々に幸せを分け与えることができるのなら。。。。。。ネットやメールの普及により、対面コミュニケーション能力の低下が叫ばれている現代社会において、ネットを発祥としたこのような新たなコミュニケーションが社会現象になりつつあるのは興味深いことです。

佐藤 恭子

「綜麻線」

この時期になると、思い出したかのように始めることがあります。

$$1+2+3+4+5+6+7+8+9+10+11+12+ \dots$$

この足し算を 365 まで続けていくと総額 66,765 になるという 365 日貯金です。街中でハロウィンやボジョレ・ヌーヴォー、クリスマスといった恒例の鮮やかなイベントの名前がちらほら目につきはじめるこの時期がやってくると、私のなかではこの目標金額をめざしたプチ貯金開始のゴングが鳴り響きま

す。1 から順に 365 まで書き込んだ表と 600 g 容量くらいのピンを用意して、ピンに小銭を入れるたびに入れた小銭と同等の数値をぬりつぶしていきます。のちのち使うことも考慮に入れて小銭といってもお財布の中の最低 100 円以上 100 円単位としています。たとえば 500 円玉をいれる時は 50、115、135、200 といった具合に合計で 500 になるように表の数字を塗りつぶし、お札をいれるときには引き算をして 333、222、111、99、77、66、55、22、11、4 としてみたり。表が全部ぬりつぶされるとき、ピンの中には 66,765 円が貯まっている仕組みです。

この貯金に利息はついてきませんが、私にとってはボーナスも近づいてイベント気分です少し緩みがちになった金銭感覚を見直す機会になっています。いつもの生活予算内で、小銭レベルの自分の無駄な出費を戒めてみると節約の余地がたくさんあることに気づきます。

調べてみると、2006 年 11 月に銀座のプランタンが調査した女性がクリスマスギフトに対して「恋人またはパートナーへ期待する価格」の平均額は 53,260 円（2005 年平均 60,496 円）でした。365 日貯金でも、なんとか期待に応えられそうですね。

色鉛筆片手に足し算、引き算をしながら日増しにカラフルなモザイク模様になっていく表とだんだん重たくなってゆくピンをなるべく目立たないところにしまいこんだりしながら、この 66,765 円をどう使おうかなと期間限定のこの時間を楽しんでいます。

儉約にめげそうになったときは、身近なお友達を巻き込んで一緒に目標金額達成にむけて競争をするとグンとはかどります。

斉藤 玲

「アンコールワットで思う」

先日久しぶりの休暇でカンボジアが誇る世界遺産、アンコールワットを訪れてきました。数百年の風雪に耐え（雪は降らないか）度重なる内戦やポルポトの破壊にもめげず、今でも訪れる者に鮮烈に、往時の壮大さを実感させてくれます。「よくもこれだけの荘厳なものを作ったものだ！そして何百年もひっそりとジャングルの奥深く静かに眠り続けていたんだなあ！」。遺跡としてはそれは比類なき世界の財産であり、いちどは自分の目でじかに味わうべき価値あるものであることはまちがいありません。

アンコールワットは日本の室町時代にあたる頃創建された仏教寺院であります。しかし同じ歴史深き寺院でありながら、法隆寺や薬師寺など日本のそれに触れ合った時にこみ上げる大河の滔々とした流れの如き歴史という生命の息遣いを、残念ながらアンコールでは感じる事が出来ませんでした。そこで気が付いたのは、温もりの違いでありました。つまり法隆寺は今年で創建 1400 年になりますが、その間しっかりと生命を持って生き続けている寺院なのに対して、アンコールワットはただの遺跡、言い換えれば寺院の抜け殻、あるいは死骸と言ってもいいかもしれません。そこには生きとし生けるものへの温かな包容力がもはやなかったのです。

千数百年に亘って生命の鼓動を響かせ続けている日本の文化、それは世界でも稀有な存在であって、まさに「美しい国日本」なのです。その尊さに改めて気づかされたのは、アンコール神殿の広大な石畳の上でありました。

中野 晴啓

セミナー情報

<バンガード・グループ セゾン投信共催セミナー>

テーマ : 「投資先進国」アメリカに学ぶ長期投資

プログラム : 講演 ネイスン・ニューポート 氏

(米国バンガード・グループ 国際部リレーションシップマネージャー)

パネルディスカッション

<パネリスト>

加藤 隆 氏 (バンガード・グループ駐日代表)

ネイスン・ニューポート 氏

中野晴啓 (セゾン投信代表取締役社長)

<コーディネーター>

藤沢久美 氏 (11月18日のみ)

費用 : 無料

日時 : 11月14日(水) 19:00~20:30 <東京・ミニセミナー>

場所 : 日本教育会館 第2会議室 (住所: 千代田区一ツ橋 2-6-2)

日時 : 11月17日(土) 14:00~16:30 <大阪会場>

場所 : 大阪桐杏学園 会議室 (住所: 大阪市北区梅田 1-1-3)

日時 : 11月18日(日) 13:00~16:00 <東京会場>

場所 : ニッショーホール (住所: 港区虎ノ門 2-9-26)

上記各セミナーの参加ご応募は締め切らせていただきました。(応募期間 2007年9月18日~2007年10月31日)

<セゾン投信主催セミナー>

日時 : 11月21日(水) 19:00~20:00

テーマ : セゾン投信の運用商品について

講師 : 当社運用部社員

場所 : セゾン投信会議室 (住所: 豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60・54F)

費用 : 無料

日時 : 11月28日(水) 19:00~20:00

テーマ : セゾン投信が見据える長期投資

講師 : 中野晴啓 (セゾン投信代表取締役社長)

場所 : セゾン投信会議室 (住所: 豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60・54F)

費用 : 無料

セミナーの詳細、お申込につきましては当社ホームページから「セミナー情報」をご覧ください。

URL <http://www.saison-am.co.jp>

セミナーに関するお問合せ先

セゾン投信お客様窓口 TEL 03-3988-8668 (9:00~17:00 土日祝、年末年始を除く)

ご留意事項

上記セミナーにおきまして、セゾン投信が設定、運用、販売を行う投資信託の勧誘を行うことがあります。投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので基準価額は変動します。その結果、購入時の価額を下回ることもあります。各投資信託のリスク、費用については投資信託説明書(交付目論見書)に詳しく記載されております。ご購入に際しては、必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

セゾン投信からのお知らせ

< 法人名義でのお取引、未成年者の口座開設ができるようになりました。 >

お客様からたくさんのご要望をいただいております法人名義でのお取引および未成年者の口座開設ができるようになりました。

法人名義でのお取引をご希望される場合

法人のお客様専用の口座開設キットをご請求いただく必要がございます。当社お客様窓口までお電話にてご請求ください。

未成年者のお口座開設をご希望される場合

インターネットまたは当社お客様窓口までお電話にて口座開設キットをご請求ください。

お口座開設にあたり以下の書類をご提出いただく必要がございます。

総合取引申込書	
振替決済口座設定申込書	総合取引申込書左下半分
申込者（未成年）様のご本人確認書類（A）	ご提出いただけるご本人確認書類は口座開設キット同封の記入例に記載されております。
親権者同意書	親権者が2名様の場合は2名様分のご記入が必要です。
親権者様のご本人確認書類	親権者が2名様の場合は2名様分のご提出が必要です。
親子関係が確認できる書類（B）	戸籍謄本・住民票謄本のいずれか

* AとBが1枚で済む場合

健康保険証（続柄が分かるものに限ります）

住民票謄本

上記以外の場合はAとBの両方をご提出いただく必要がございます。

未成年口座のお取引に関する注意点

* お取引は親権者の方からお電話のみで承ります。（インターネットでのお取引いただけません）

* 取引結果は書面（郵送）での交付となります。（電子交付サービスはご利用いただけません）

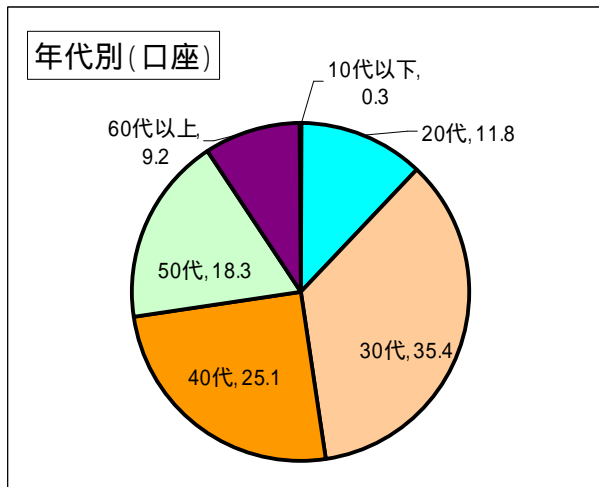
* ご住所や積立等の条件を変更される場合は「親権者同意書」をあわせてご提出いただく必要がございます。

< 定期積立プランの登録内容の変更について >

定期積立プランの登録内容を変更される場合は下記の点にご注意ください。

購入する投資信託の変更、毎月の引落額および増額月の引落額の変更の場合	毎月 15 日までに当社にてお受けした分が原則として翌月 4 日の引落分から変更が適用されます
引落口座を変更される場合	毎月 20 日までに当社にてお受けした分が原則として翌々月 4 日の引落分から変更が適用されます

お問合せ先 : セゾン投信お客様窓口 TEL 03-3988-8668 (9:00~17:00 土日祝、年未年始を除く)



法人口座データ除く

TOPICS :

10月より未成年のお客様の口座開設を開始しました。10月は未成年のお客様から44件のお申込みをいただきました。

当社のファンドに係るリスクについて

当社の運用、販売するファンド(以下、当ファンド)はファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「ントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

当社のファンドに係る費用について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

<セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド>

申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して 0.1%の信託財産留保額が控除されます。

保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年 0.4935% (税抜 0.47%) の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年 0.77% ± 0.02% (概算) となります。

その他費用

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 (有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む) 監査報酬 (消費税含む) 立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことが出来ません。

詳しくは投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください。

<セゾン資産形成の達人ファンド>

申込時に係る費用

申込手数料はかかりません。

解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して 0.1%の信託財産留保額が控除されます。

保管期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬

ファンドの純資産総額に年 0.567% (税抜 0.54%) の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年 1.3% ± 0.2% (概算) となります。

その他費用

信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 (有価証券の売買の際に発生する手数料や、有価証券の保管に要する費用等を含む) 監査報酬 (消費税含む) 立替金の利息等が信託財産の中から差し引かれます。なお、当該その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に計算方法、上限額等を示すことが出来ません。

詳しくは投資信託説明書 (交付目論見書) をご覧ください。